

防災食について

学校健康教育協議会（須賀川市立第二中学校） 増子 かおる

須賀川市立第二中学校では防災食として、須賀川市教育委員会から配布された5年保存できる「カレーライス」と「ケチャップライス」を緊急時や災害時に使用できるように、現在備蓄しています。「カレーライス」は全校生分、「ケチャップライス」はアレルギー対応用として7食分がいつでも使用できるようになっています。

防災食の備蓄場所については、全教職員が把握できるように職員会議で周知しており、緊急時や災害時にすぐ対応できるよう共通理解を図っています。

防災食の賞味期限が近くなると、須賀川市教育委員会より新しい防災食が再配布され、それまで備蓄していた防災食については、持ち帰りもしくは給食で使用するなどで全校生に提供する対応を行なっています。



現在、保存している「防災食」

本校では、令和4年度に再配布があり、賞味期限が切れる前にレトルトカレーを温めて、「防災給食」として全校生で味わいました。防災食を給食に取り入れることで、防災教育と食育の一環として実施しました。

緊急時や災害時などの不安な時は、食欲がおちることや食事を受け付けなくなることがあるため、事前に食べ慣れておくことで、食事をすることができればよいと考えます。

「防災給食」を食べた生徒の反応は「少し味が濃

いです。」「辛いけど、おいしいです。」などの感想をもらうことができました。

家庭には、実施する前に献立表で「防災給食」に使用するレトルトカレーの写真や原材料などを知らせ、実施後は写真や感想などを給食だよりに掲載しました。



令和4年に実施した「防災給食」

防災給食を実施するのは、次回は令和9年度になる予定です。防災に関しては、毎年9月の「防災の日」に防災や備蓄関連の内容を給食だよりに掲載するように心がけています。今年度は「ローリングストックのポイント」などを掲載しました。

災害はいつ起こるかわからないため「防災給食」や「給食だより」が家庭の話題の一つに上がることや、実際に食べた経験が災害時に少しでも役立てば良いと考えます。